

## 1816 歴史記録の電子化

担当者 飯尾能久(iio@rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp)

- ・実施機関（代表機関）名

京都大学防災研究所

- ・研究目的

東南海・南海道震前の地震活動や応力状態を知るために、過去の地震データは最も重要な情報の一つである。劣化しつつある歴史地震記録を電子化し、データベースを構築することが本研究の主な目的である。